

決算報告

金城学院の2023年度の決算について、お知らせします。学校法人では学校法人会計基準という法令に基づき計算書類(決算書)を作成しますが、ここでは、事業活動収支計算書、貸借対照表、資金収支計算書の3表によって決算概要を説明します。

収支の概要

事業活動収支計算書は、次の3つの活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容並びにすべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにする計算書類です。

教育活動収支は、学生・生徒・園児への教育並びに研究活動に係る収入と支出の差額であり、2023年度△7億4千4百万円となっています。

教育活動外収支は、教育活動以外の経常的な活動に係る収入と支出の差額であり、2023年度1千2百万円となっています。

特別収支は、その他の臨時的な活動に係る収入と支出の差額

であり、2023年度は大学父母会からの施設設備寄付金、教育研究用機器備品等の現物寄付、施設設備にかかる補助金による収入、資産処分差額による支出等により9千万円となっています。これらの結果、基本金組入前当年度収支差額△6億4千2百万円となっています。

また、学校法人では、必要な資産を継続的に保持するため、教育・研究のために取得した固定資産の金額を基本金として留保しなければなりません。2023年度の基本金組入額は2億8千6百万円になり、その結果、当年度収支差額は△9億2千7百万円となりました。

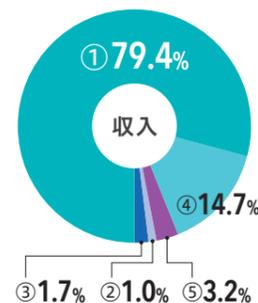
2023年度 事業活動収支計算書

(単位：千円)

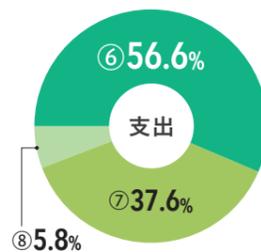
教育活動収支		
収入	学生生徒等納付金	7,868,026
	手数料	102,268
	寄付金	163,531
	経常費等補助金	1,452,843
	付随事業収入	28,797
	雑収入	285,981
	教育活動収入計	9,901,446
支出	人件費	6,050,817
	教育研究経費	3,972,530
	管理経費	621,849
	徴収不能額等	0
	教育活動支出計	10,645,196
教育活動収支差額	△ 743,750	
教育活動外収支		
収入	受取利息・配当金	34,343
	その他の教育活動外収入	760
教育活動外収入計	35,103	
支出	借入金等利息	23,262
	その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	23,262	
教育活動外収支差額	11,841	
経常収支差額	△ 731,909	

特別収支		
収入	資産売却差額	14,808
	その他の特別収入	90,611
特別収入計	105,419	
支出	資産処分差額	6,112
	その他の特別支出	9,101
特別支出計	15,213	
特別収支差額	90,207	
基本金組入前当年度収支差額	△ 641,702	
基本金組入額合計	△ 285,649	
当年度収支差額	△ 927,351	
前年度繰越収支差額	△ 17,939,600	
基本金取崩額	4	
翌年度繰越収支差額	△ 18,866,947	
(参考)		
事業活動収入計	10,041,968	
事業活動支出計	10,683,670	

● グラフで見る教育活動



- ① 学生生徒等納付金……授業料、施設設備費、実験実習料などの収入
- ② 手数料……入学検定料や証明書発行手数料などの収入
- ③ 寄付金……卒業生、企業等から頂いた寄付金
- ④ 経常費等補助金……国や地方公共団体から受けている補助金
- ⑤ その他の収入……付随事業収入、雑収入などの収入



- ⑥ 人件費……全ての教員・職員の給与、所定福利費などの経費支出
- ⑦ 教育研究経費……授業や実習などの教育に関する経費と教員・学生の研究に関する経費支出。資格講座、就職講座の経費なども含む
- ⑧ 管理経費……教育研究に直接関係しない経費支出

資産・負債・純資産の概要

貸借対照表は、年度末における財政状態を明らかにする計算書類であり、資産・負債・純資産を示しています。

資産は、土地・建物等の有形固定資産、将来の特定の支出に備えるための資金を留保した特定資産、ソフトウェア等のその他の固定資産、現金預金等の流動資産から成っており、2023年度末434億3千2百万円となっています。

負債は、返済期間が1年以内に到来しない借入金等の固定負債、返済期間が1年以内に到来する借入金・前受金等の流動負債

から成っており、2023年度末77億7千万円となっています。なお、負債に含まれる借入金は、主に金城学院キャンパスマスタープラン「KMP21」によるキャンパスの大規模リニューアルに伴う日本私立学校振興・共済事業団からの借入金です。

純資産は、外部へ返済の必要のない金城学院に完全に帰属する資産総額であり、正味財産と呼ばれています。これは、2023年度末356億6千2百万円となっており、2022年度末363億3百万円から6億4千1百万円減少しています。

2023年度 貸借対照表

(単位：千円)

科目	本年度末	前年度末
有形固定資産	32,305,209	33,705,159
特定資産	5,425,896	5,417,750
その他の固定資産	1,639,362	1,618,002
流動資産	4,061,673	4,236,085
資産の部合計	43,432,139	44,976,996
固定負債	5,739,612	6,561,388
流動負債	2,030,753	2,112,132
負債の部合計	7,770,365	8,673,519
基本金	54,528,721	54,243,076
繰越収支差額	△ 18,866,947	△ 17,939,600
純資産の部合計	35,661,774	36,303,477
負債及び純資産の部合計	43,432,139	44,976,996

資金の動きの概要

資金収支計算書は、1年間に発生した支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにする計算書類です。2023年度は教育研究のための経費として、23億6百万円の資金が使われ、教育

研究の充実が図られました。また、2023年度の支払資金の残高は、37億6千4百万円となっています。

2023年度 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	7,868,026	人件費支出	6,186,756
手数料収入	102,268	教育研究経費支出	2,305,706
寄付金収入	163,965	管理経費支出	601,796
補助金収入	1,502,169	借入金等利息支出	23,262
資産売却収入	0	借入金等返済支出	644,420
付随事業・収益事業収入	29,557	小計	9,761,939
受取利息・配当金収入	34,343	施設関係支出	122,339
雑収入	244,304	設備関係支出	129,734
借入金等収入	0	小計	252,073
前受金収入	1,071,001	資産運用支出	63,619
その他の収入	3,102,222	その他の支出	2,841,287
資金収入調整勘定	△ 1,410,959	資金支出調整勘定	△ 167,990
前年度繰越支払資金	3,807,641	翌年度繰越支払資金	3,763,609
合計	16,514,537	合計	16,514,537

注：各表の数値は千円未満を四捨五入しているため、合計数値に差異を生じる可能性があります。